

令和 8 年 6 月 1 8 日	次期一般廃棄物処理施設 整備調査特別委員会
市民環境部新ごみ処理施設整備準備室 資料 No1	

次期一般廃棄物処理の在り方に係る再検討について

1. 次期一般廃棄物処理施設の整備について

①施設整備に要する経費

【総事業費】

単位：百万円

	基本構想時	再算定後	増減
可燃ごみ処理施設	6,290	8,617	2,327
不燃ごみ処理施設	3,550	4,863	1,313
最終処分場	2,380	3,212	832
敷地造成費		3,625	3,625
周辺インフラ整備費		398	398
合 計	12,220	20,715	8,495

【財源構成】

単位：百万円

	基本構想時	再算定後	増減
交付金	3,480	5,349	1,869
起債（過疎債）	8,300	14,578	6,278
一般財源	440	788	348
合 計	12,220	20,715	8,495

【雲南市への影響】

単位：百万円

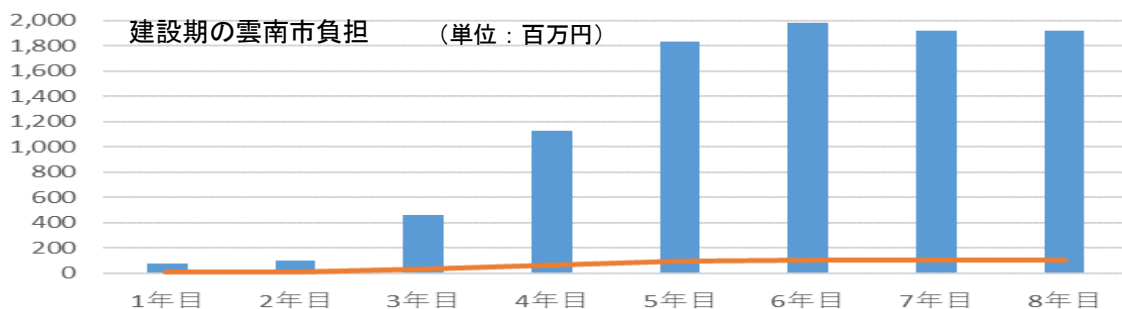
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	合計
起債発行額	73	102	462	1,123	1,832	1,984	1,916	1,916	9,408
一般財源	5	9	31	61	96	104	101	101	508

○起債発行額の増加 → 雲南市負担分 9,408 百万円（4,052 百万円増加）

- ・人件費・物価の高騰や経費（敷地造成費など）の追加により総事業費が増加。これにも伴い起債発行額も大幅に伸びる
- ・特に施設整備期の後半にかけては 10 億円以上の起債を発行することが見込まれる

○一般財源の増加 → 雲南市負担分 508 百万円（255 百万円増加）

- ・総事業費の拡大に伴い、一般財源の増加も見込まれる
- ・交付金の交付率、起債の充当率や利率が変化した場合、一般財源は更に増加する。総事業費が極めて大きな事業であるため、その影響も非常に大きなものとなる



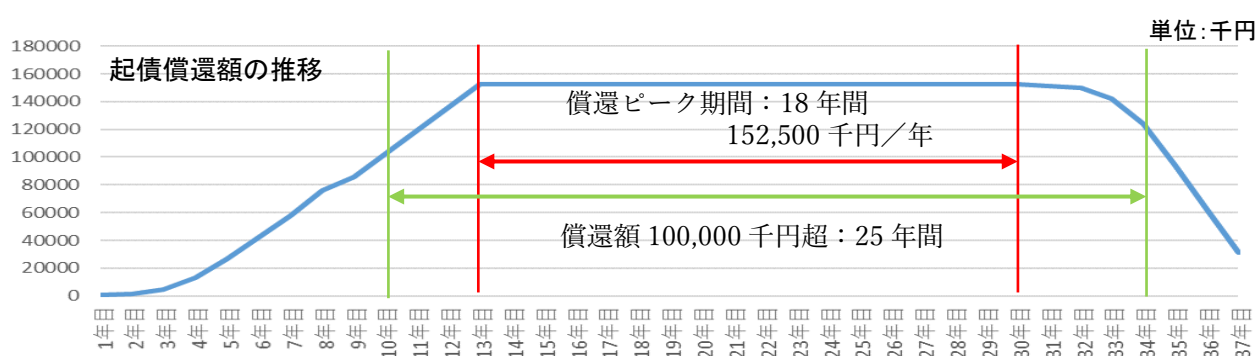
【実負担額】

単位：百万円

	基本構想時	再算定後	増減
一 般 財 源	440	788	348
起 債 償 還 額 (3 割)	2,520	6,454	3,934
合 計	2,960	7,242	4,282
雲 南 市	1,920	4,673	2,753
奥 出 雲 町	720	1,741	1,021
飯 南 町	320	828	508
合 計	2,960	7,242	4,282

○起債償還額（3割）の増額 → 雲南市負担分 4,165 百万円（2,739 百万円増加）

- ・起債償還額についても増加。建設時に必要となる一般財源と合わせると、雲南市の実負担額は 4,673 百万円（2,753 百万円増加）



②施設運営に要する経費（30 年間で必要となる経費）

【維持管理費】

単位：百万円

	基本構想時（30年換算値）	再算定後（30年間）	増減
雲南市	10,245	11,325	1,080
奥出雲町	3,816	4,886	1,070
飯南町	1,815	2,274	459
合計	15,876	18,485	2,609

【収集運搬費】

単位：百万円

	基本構想時（30年換算値）	再算定後（30年間）	増減
雲南市	3,512	3,887	375
奥出雲町	1,286	1,277	-9
飯南町	1,266	1,391	125
合計	6,064	6,555	491

【合 計】

単位：百万円

	基本構想時（30年換算値）	再算定後（30年間）	増減
雲南市	13,757	15,212	1,455
奥出雲町	5,102	6,163	1,061
飯南町	3,081	3,665	584
合計	21,940	25,040	3,100

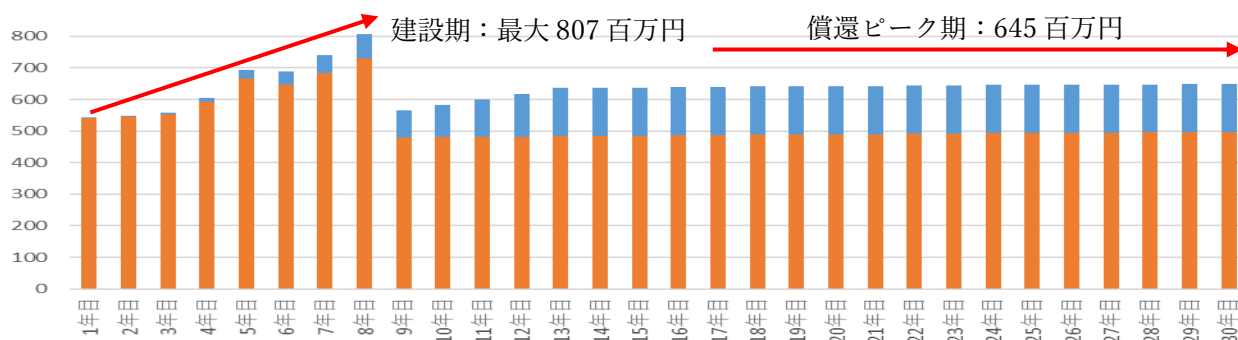
③次期一般廃棄物処理施設整備に伴う影響額

【3市町負担金（建設経費＋30年間の施設運営費）】

単位：百万円

	基本構想時	再算定後	増減
雲南市	15,677	19,885	4,208
奥出雲町	5,822	7,904	2,082
飯南町	3,401	4,493	1,092
合計	24,900	32,282	7,382

※基本構想時の施設運営費は30年換算後の数値



- ・施設の建設期には最大で 807 万円の一般財源が必要
- ・償還ピーク期の単年度あたりに係る費用は、645 百万円
- ・現在でも一般財源の支出抑制に努める当市にとって、大きな負担となる

④更なる広域化に向けた備え

- ・前述の状況から、雲南圏域の規模で施設を設置・運営し、一般廃棄物処理を継続していくことは、非常に困難
- ・国においても更なる広域化を求める動きは段階的に強化されている
- ・将来的な更なる広域化の流れに乗り遅れないよう備えておくことも重要な視点

【当市の考え】

このまま次期一般廃棄物処理施設の整備を実施することは非常に難しいと考えている

２．一般廃棄物の処理委託に関する考察結果について

①処理委託パターンの経費試算結果

【施設整備との経費比較】

単位：百万円

	1－1	1－2	1－3	2－1	2－2	2－3
	全量委託（可燃、可燃残渣、不燃残渣）			一部委託（可燃、可燃残渣）		
	改：雲南EC 仁多KC	新：可燃中継施設 改：仁多KC	新：統合中継施設 改：仁多KC	改：雲南EC 仁多KC	新：可燃中継施設 改：仁多KC	新：統合中継施設 改：仁多KC
集 約	-4,131	-1,304	313	-3,429	-714	936
分 散	-5,011	-2,596	-1,255	-3,884	-2,121	-784

②有効パターンの絞り込み

- ・経費比較の結果から、効率的かつ効果的な処理が可能な分散型に絞り込む
- ・現在の不燃ごみ処理施設の運営実態にも鑑み、全量委託とする
- ・経費抑制効果の最も高い「分散１－１（案１）」と「分散１－２（案２）」を有力パターンとする

③施設整備を行った場合との経費比較

（施設整備費）

【総事業費】

単位：百万円

	施設整備	分散１－１		分散１－２	
	再算定後	再算定後	増減	再算定後	増減
可燃ごみ処理施設	8,617	299	-8,318	4,470	-4,147
不燃ごみ処理施設	4,863		-4,863		-4,863
最終処分場	3,212		-3,212		-3,212
敷地造成費	3,625		-3,625		-3,625
周辺インフラ整備費	398		-398		-398
合計	20,715	299	-20,416	4,470	-16,245

【財源構成】

単位：百万円

	施設整備	分散１－１		分散１－２	
	再算定後	再算定後	増減	再算定後	増減
交付金	5,349	31	-5,318	1,196	-4,153
起債（過疎債）	14,578	255	-14,323	3,107	-11,471
一般財源	788	13	-775	167	-621
合計	20,715	299	-20,416	4,470	-16,245

【実負担額】

単位：百万円

	施設整備	分散１－１		分散１－２	
	再算定後	再算定後	増減	再算定後	増減
一般財源	788	13	-775	167	-621
起債償還額（３割）	6,454	92	-6,362	1,377	-5,077
合計	7,242	105	-7,137	1,544	-5,698
雲南市	4,673	68	-4,605	996	-3,677
奥出雲町	1,741	25	-1,716	371	-1,370
飯南町	828	12	-816	177	-651
合計	7,242	105	-7,137	1,544	-5,698

○施設整備に係る一般財源の大幅抑制

- ・経費の抑制効果は、３市町にとって非常に大きなメリットとなる

(施設運営費)

【維持管理費】

単位：百万円

	施設整備	分散 1 - 1		分散 1 - 2	
	再算定後	再算定後	増減	再算定後	増減
雲南市	11,325	3,148	-8,177	5,792	-5,533
奥出雲町	4,886	2,134	-2,752	2,618	-2,268
飯南町	2,274	422	-1,852	1,028	-1,246
合計	18,485,000	5,704	-12,781	9,438	-9,047

【収集運搬費】

単位：百万円

	施設整備	分散 1 - 1		分散 1 - 2	
	再算定後	再算定後	増減	再算定後	増減
雲南市	3,887	5,555	1,668	5,225	1,338
奥出雲町	1,277	1,648	371	1,463	186
飯南町	1,391	1,499	108	1,455	64
合計	6,555	8,702	2,147	8,143	1,588

【合計（維持管理費＋収集運搬費）】

単位：百万円

	施設整備	分散 1 - 1		分散 1 - 2	
	再算定後	再算定後	増減	再算定後	増減
雲南市	15,212	8,703	-6,509	11,017	-4,195
奥出雲町	6,163	3,782	-2,381	4,081	-2,082
飯南町	3,665	1,921	-1,744	2,483	-1,182
合計	25,040	14,406	-10,634	17,581	-7,459

【処理委託費】

単位：百万円

	施設整備	分散 1 - 1		分散 1 - 2	
	再算定後	再算定後	増減	再算定後	増減
雲南市		7,888	7,888	6,528	6,528
奥出雲町		2,668	2,668	2,208	2,208
飯南町		1,044	1,044	864	864
合計	0	11,600	11,600	9,600	9,600

(30 年間で要する実負担額の比較)

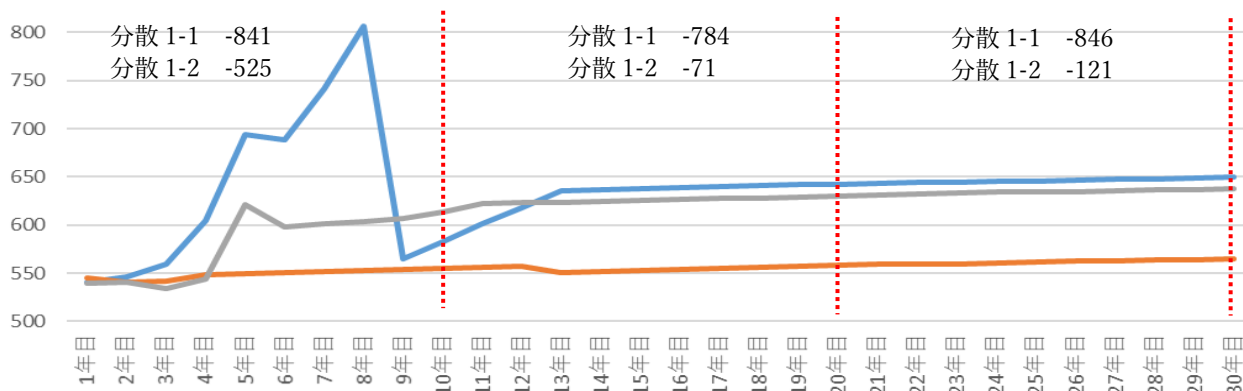
	施設整備	分散 1 - 1		分散 1 - 2	
	再算定後	再算定後	増減	再算定後	増減
雲南市	19,131	16,660	-2,471	18,414	-717
奥出雲町	7,623	6,475	-1,148	6,612	-1,011
飯南町	4,359	2,977	-1,382	3,502	-857
合計	31,113	26,112	-5,001	28,528	-2,585

(参考掲載) 施設整備に要する費用＋30 年間に係る維持管理費

	施設整備	分散 1 - 1		分散 1 - 2	
	再算定後	再算定後	増減	再算定後	増減
雲南市	19,886	16,660	-3,226	18,541	-1,345
奥出雲町	7,904	6,475	-1,429	6,659	-1,245
飯南町	4,493	2,977	-1,516	3,525	-968
合計	32,283	26,112	-6,171	28,725	-3,558

④単年度ごとの雲南市負担額の推移

単位：百万円



○分散1-1

建設期：一般財源、起債発行額ともに大きく抑制できる

運営期：起債償還額（3割）を抑制できるため、年間1億円程度の経費が節減できる

○分散1-2

建設期：一般財源、起債発行額ともに大きく抑制できる

運営期：施設整備の起債償還がピークになるまでは、運営費が上回る期間がある。収集運搬費、処理委託料が割高となるため。償還ピーク期以降は、年間1千万円程度だが経費を節減できる

⑤処理委託に関する懸念点への対応・対策

○処理委託による一般廃棄物処理の継続性

企業名	自社 BU 体制	相互連携	連携企業	備考
A 社	○	○	○	
B 社	△	○	△	新規施設の建設予定あり

○市民生活への影響

処理料金	今回の検討結果に伴う料金の改定予定なし ※ 将来的に料金の引き上げが必要となる場合も想定。ごみの減量化など取り組みを進める
ごみの収集	収集回数、収集場所など変更はなし
ごみの出し方	処理委託先では、主として燃焼方式による処理が行われる想定 RDF 方式との違いから、分別方法が変更となる可能性が高い

【当市の考え】

○分散1-1：施設整備を行った場合の課題点を十分に補い、雲南圏域の一般廃棄物処理を実施することが可能

○分散1-2：投資的経費の抑制効果は大きい。経費メリットを担保しながら更なる広域化などへの動きにも柔軟に対応することが可能

試算の結果、30年間は経費メリットが得られることを確認

更なる広域化の流れも見据えつつ、当面の間、処理委託による一般廃棄物処理を実施していくことが妥当と考えている